

DesktopSwitcher

項目	内容
会社名	Edamura-Software
メール	y.edamura.1009@gmail.com
ホームページ	https://edamura-software.com

ご利用の手引き（バージョン 1.0.0）

画面の端の矢印で、開いているウィンドウをまとめて横・縦へ流し、デスクトップを広く使うためのアプリです。

1. このアプリでできること

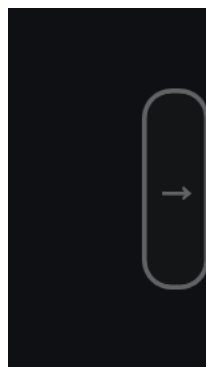
DesktopSwitcher は、画面の端に小さな矢印ボタンを常駐させ、押している間だけ開いているウィンドウすべてをなめらかにスライドさせます。画面の外にウィンドウを置いておき、必要なときに引き寄せることで、1枚の画面を横や縦へ広げて使っているような操作感になります。

- 矢印を押している間、ウィンドウが流れます。離すと、慣性でなめらかに止まります。
- 動かすアプリを選べます（選んだアプリだけを流す）。
- 今どこまで流れているかを、右下のマップで確認できます。
- 右クリックやホットキーで、元の位置にすぐ戻せます。

ご注意: Windows の仮想デスクトップを切り替えるアプリではありません。ウィンドウそのものを画面の外へ動かす仕組みです。

2. 画面の見かた

起動すると、画面の端に半透明の矢印ボタンが並びます。通常はうすく表示され、マウスを乗せるとはっきり表示されます。



通常時（うすく表示）



マウスを乗せたとき

ボタン	場所	はたらき
←	画面の左端・中央	押している間、画面を左へ流します（ウィンドウは右へ動きます）。

ボタン	場所	はたらき
→	画面の右端・中央	押している間、画面を右へ流します（ウィンドウは左へ動きます）。
↑	画面の上端・中央	押している間、画面を上へ流します。
↓	画面の下端・中央	押している間、画面を下へ流します。
□	画面の下・中央の右	元の位置へ戻します。
⌂	画面の下・中央の左	画面の外へはみ出したウィンドウを、見える範囲へ集めます。

矢印は常に最前面に表示されます。ボタンは小さく端に寄せてあり、クリックしても作業中のウィンドウからフォーカスを奪いません。

3. 基本の操作

操作	動作
矢印を押し続ける	押している間だけ、ウィンドウが流れます。離すとなめらかに止まります。
矢印をダブルクリック	押した位置から、ちょうど1画面分だけ動いて止まります。
矢印の上でホイールを回す	1ノッチごとに一定の距離だけ動きます。上回しで矢印の向きへ、下回しで反対へ動きます。
矢印を右クリック	すべてのウィンドウを元の位置へ戻します。
□ をクリック	元の位置へ戻します。
⌂ をクリック	はみ出したウィンドウを見える範囲へ集めます。

ヒント: 流れる速さは「設定」で変更られます。

4. 動かすアプリを選ぶ

矢印にマウスを乗せると、開いているアプリの一覧が表示されます。チェックを付けたアプリだけが流れ、それ以外のアプリは動きません。

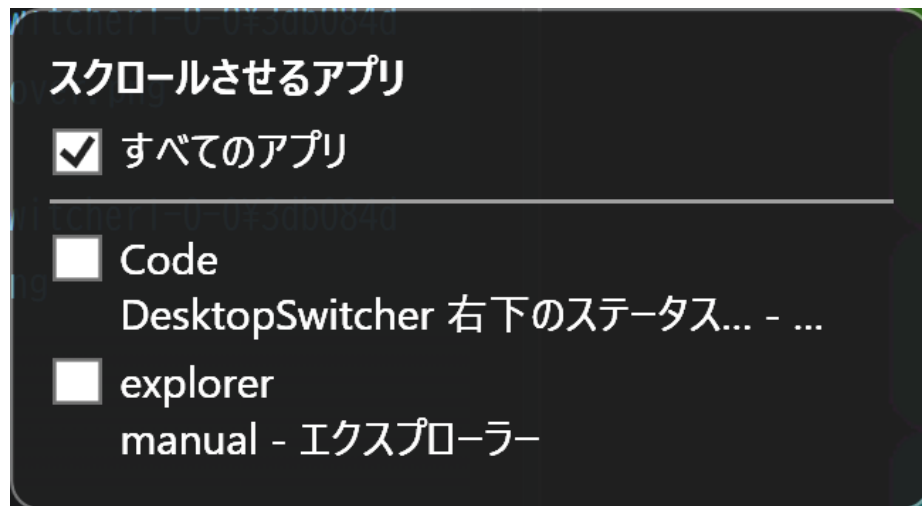


図 1 アプリ一覧（矢印にマウスを乗せたとき）

- 「すべてのアプリ」にチェックがある間は、全アプリが対象です。
- 個別にチェックすると、そのアプリだけが対象になります。
- 一部のアプリだけを対象にしている間は、矢印の枠が橙色になります。
- 一覧に出るのは、タスクバーに出るような通常のウィンドウを持つアプリです。
- 一覧を出したくない場合は、「設定」で表示をオフにできます。

5. 現在位置のマップ

矢印にマウスを乗せると、画面の右下に配置図（マップ）が表示されます。今の画面と、開いているウィンドウの位置関係をひと目で確認できます。



図 2 現在位置のマップ

表示	意味
水色の太い枠	現在の画面です。枠の中が、いま画面に見えている範囲です。
「現在の画面」の右の数値	最初の位置からどれだけ流れたか (X, Y) と、画面の大きさです。右・下へ進むとプラスの値になります。
白い四角	開いているウィンドウです。アプリの名前と大きさ (ピクセル) が書かれます。
明るい四角 / 暗い四角	明るいものは画面内、暗いものは画面の外にあるウィンドウです。

マップはクリックを素通しするので、下にあるウィンドウをそのまま操作できます。マウスを矢印から外すと消えます。表示しない場合は、「設定」でオフにできます。

6. ホットキー

矢印を押さなくても、キーボードから操作できます。矢印が他のウィンドウで隠れているときにも便利です。

キー	動作
Ctrl + Alt + ← / → / ↑ / ↓	押している間、その向きへ流します。
Ctrl + Alt + Home	元の位置へ戻します。
Ctrl + Alt + End	はみ出したウィンドウを集めます。
Ctrl + Alt + 1 ~ 9	保存した位置へ移動します (7 章を参照)。

他のアプリが同じキーを使っている場合は、そのキーだけ働きません。ホットキーを使わない場合は、「設定」でオフにできます。

7. 位置を保存して呼び出す

よく使う画面位置は、番号を付けて保存できます (最大 9 件)。

- 保存: 目的の位置まで流してから、タスクトレイのアイコンを右クリックし、「保存した位置」の「現在位置を保存」を選びます。

- ・ 呼び出し: 「保存した位置」の一覧から選ぶか、Ctrl + Alt + 番号 を押します。
- ・ 削除: 一覧の項目にある「削除」を選びます。

8. タスクトレイのメニュー

通知領域のアイコンを右クリックすると、次のメニューが開きます。ダブルクリックすると設定を開けます。

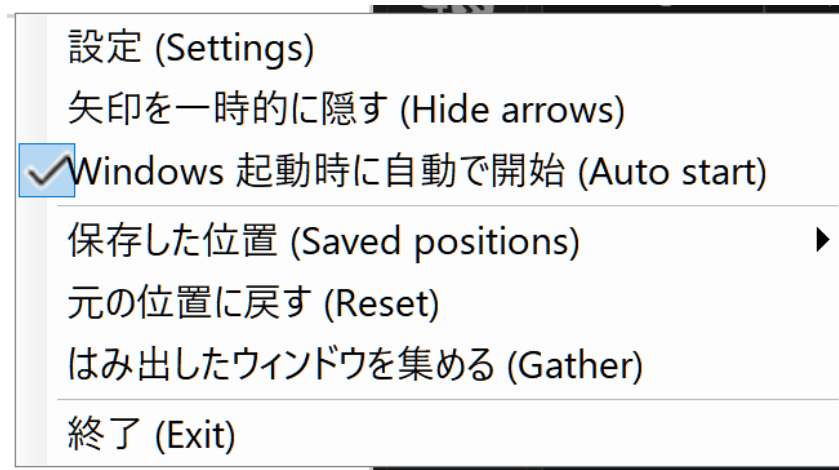


図 3 タスクトレイのメニュー

項目	内容
設定 (Settings)	設定画面を開きます。
矢印を一時的に隠す (Hide arrows)	矢印を隠します。もう一度選ぶ则表示します。
Windows 起動時に自動で開始 (Auto start)	ログオン時に自動で起動するかを切り替えます。
保存した位置 (Saved positions)	画面位置の保存・呼び出し・削除をします。
元の位置に戻す (Reset)	ウィンドウを元の位置へ戻します。
はみ出したウィンドウを集める (Gather)	画面外のウィンドウを見える範囲へ集めます。
終了 (Exit)	アプリを終了します。終了時にウィンドウは元の位置へ戻ります。

9. 設定

トレイのメニューの「設定」から開きます。変更はすぐに反映され、自動で保存されます。

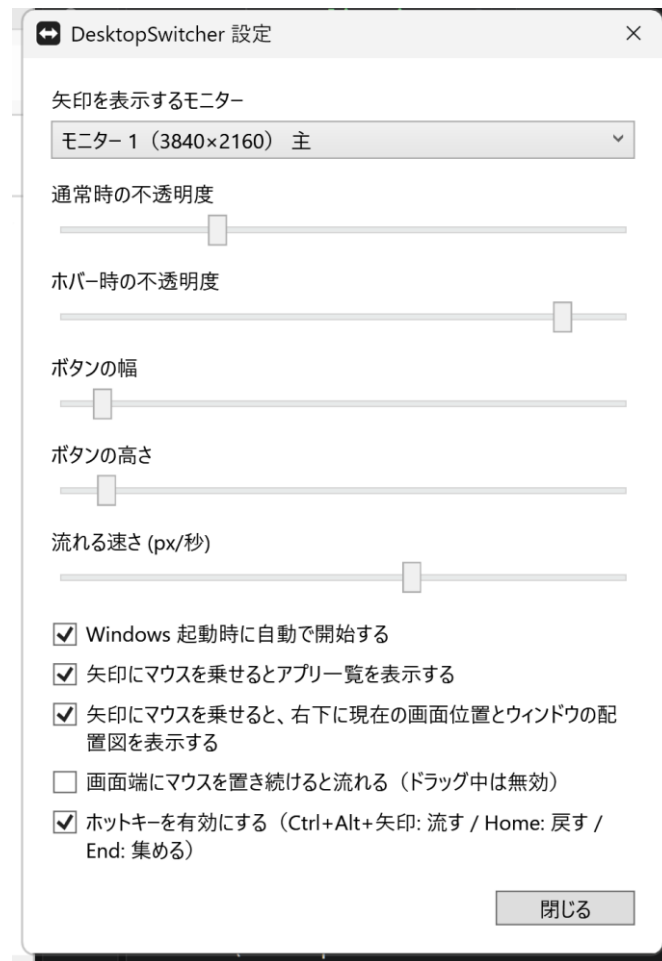


図 4 設定画面

項目	内容
矢印を表示するモニター	複数のモニターがあるとき、矢印とマップを出すモニターを選びます。
通常時の不透明度	矢印の通常時の濃さです。小さいほど目立ちません。
ホバー時の不透明度	マウスを乗せたときの濃さです。
ボタンの幅 / 高さ	矢印ボタンの大きさです。小さくすると、他のアプリの邪魔になりにくくなります。
流れる速さ (px/秒)	ウィンドウが流れる速さです。
Windows 起動時に自動で開始する	ログオン時にアプリを自動で起動します。
矢印にマウスを乗せるとアプリ一覧を表示する	4 章の一覧の表示・非表示を切り替えます。

項目	内容
矢印にマウスを乗せると、右下に配置図を表示する	5 章のマップの表示・非表示を切り替えます。
画面端にマウスを置き続けると流れる	10 章を参照してください。
ホットキーを有効にする	6 章のホットキーの有効・無効を切り替えます。

10. 画面端にマウスを置いて流す

設定でオンにすると、画面の外縁にマウスを約 0.5 秒置き続けるだけで、その向きへ画面が流れます。マウスをその辺から離すと止まります。

- ・ 既定ではオフです。
- ・ ウィンドウのドラッグ中（ボタンを押している間）は働きません。
- ・ 矢印ボタンの上、タスクバーの上、隣にモニターがある側の辺では働きません。

11. 知っておくと安心なこと

- ・ **動かないウィンドウ:** 最大化したウィンドウ、全画面のウィンドウ、最小化したウィンドウ、デスクトップやタスクバーは動きません。
- ・ **全画面のとき:** 動画やゲームが全画面で前面にあるあいだは、矢印が自動で隠れ、終わると戻ります。
- ・ **管理者権限のアプリ:** 管理者として実行されているアプリは、環境によっては動かせないことがあります。
- ・ **終了するとき:** 画面の外に残っているウィンドウは、終了時に元の位置へ戻ります。
- ・ **異常終了したとき:** 次回の起動時に、「画面外のウィンドウを集めますか?」と確認が出ます。「はい」を選ぶと見える範囲へ集めます。
- ・ **二重起動:** 同時に起動できるのは 1 つだけです。
- ・ **設定の保存先:** %APPDATA%\DesktopSwitcher\settings.json

12. インストールと削除

- ・ インストール: DesktopSwitcher-Setup-1.0.0.exe を実行し、画面の指示に従います。
管理者権限は必須ではありません。
- ・ Windows 起動時に自動で開始するかは、インストール時のチェックと、設定画面の両方で選べます。
- ・ 削除: Windows の「設定」の「アプリ」から DesktopSwitcher をアンインストールします。
- ・ 削除の前に、トレイのメニューから「終了」を選んでください。

13. こんなときは

困ったとき	対処
矢印が見えない	他のウィンドウが重なっているか、「矢印を一時的に隠す」がオンです。トレイのメニューを確認するか、ホットキーを使ってください。
ウィンドウが画面の外に出たまま戻らない	Ctrl + Alt + Home で元の位置へ、Ctrl + Alt + End で見える範囲へ集めます。
矢印が大きすぎる / 小さすぎる	設定の「ボタンの幅」「ボタンの高さ」で調整します。
ホットキーが効かない	他のアプリが同じキーを使っている可能性があります。設定でホットキーがオンか確認してください。
特定のアプリが動かない	最大化・全画面になっていないか確認してください。一部のアプリだけを対象にしていないかも、4 章の一覧で確認します。